

おにだいのひみつ

両津吉井小学校3年生

3年生は、総合の学習で「おにだいこ」を調べました。
吉井地区の方から、おにだいこのいしょうを見せていただいたり、たくさんお話を聞いたりしました。佐渡のおにだいこも学び、わかったことをまとめました。
ぜひ読んでください。

1 おにだいってどんなもの？ おにだいの意味

「おに」は
「かくれるそんざい」という意味です。

おにが、お面をかぶるのは
「正ぎのヒーロー」になるからです。



おにだいこは、みんなが幸せになるためにおこないます。
おにが来て、目に見えない悪いものを
おいはらいます。

佐渡のそれぞれの地いきでは、神様に
「けんこうになるように【無病息災=むびょうそくさい】 や
「お米がとれるように【五穀豊穡=ごこくほうじょう】 を
ねがって、おにだいこをしています。たいこについている
「ささ」は、神様が来る目じるして「よりしろ」と言います。



2 佐渡にしかないの？ おにだいのれきし



佐渡のおにだいこは、今から350年くらい前に相川で始まったそうです。そのおにだいこが佐渡のいろんな場所につたわり、今でも親しまれています。相川の次に広まったのはにいぼです。そして、にいぼから両津やいろいろなところにつたわりました。佐渡では120か所くらいの地いきでおにだいこをしています。

おにだいこは、佐渡にしかありません。
それぞれの地いきで大切につたえられてきました。

佐渡に来たらぜひおにだいこ
を見てください。

3 ちがいはあるの？ 佐渡のおにのまい方

佐渡のおにだいにには、
5しゅるいのまいかたがあります。



1 豆まきがた

おにはあまり動きません。豆まきのおじいさんが主にまいます。

2 一足がた

かた足をあげ、たいこをうちます。

3 前はまがた

たいことふえに合わせて、2ひきのおにがまいます。

4 花がさ

花がさおどりの中におにが出てきてまいます。



5 かたがみがた

「あ」「うん」のおにがまいます。吉井地区のおにも、この「かたがみがた」です。

4 どんなどきにやるの？ 日や場所

おにだいは、一年に一回行います。地いきのまつりの時に神様の力をかりて、みんなが幸せになることをねがって行います。

おにだいは、神社から出て、家や学校などを回って行きます。それぞれの家に行くことを「かどづけ」と言います。

4月ではなく、7月のおまつりでおにだいをやる所もあります。地いきでちがいます。

もとは、4月15日の春まつりの日におにだいをやっていた。しかし、15日は仕事や学校で休めない事も多いので、15日に近い土曜日や日曜日におにだいをやる事になりました。



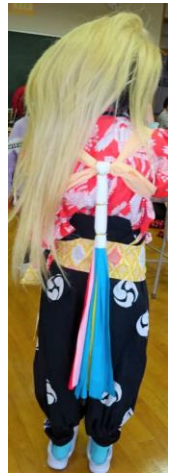
5 もようや音のいみは？ たいこやおにのいしょう

たいこの音は神様の声を表しています。
たいこをたたくことで、悪いものをおいはらいます。



たいこには、ともえのもようが3つついています。
3つのたましいがいっしょになる形で、「三つともえ」といいます。佐渡のたいこは、「三つともえ」のもようがほとんどです。「うめの花」のもようがついているたいこもあります。

おにのいしょうには、
三角の「うろこもよう」や
波の形の「せいがいは」
などがついています。



面、上着、こて、はかま、きゃはん、前かけ、おび、手ぬぐい、たすきを身につけます。足もとは、たびとわらじです。

6 おにのまわりの人は？ 役わりや持ち物

おにのまわりには、大切な役わりの人たちがいます。人数は地いきでちがいます。

うらうちをする人、4人
たいこをたたく人です。
交代してたいこをたたくことが多いです。と中でたいこのリズムもかわります。



たいこをささえる人、2人
たいこの両はじで、たいこをのせているぼうをささえます。



ちょうちんを持っている人

だいたい2から4人
ちょうちんで、おにの行く道をたらしめます。

声出しをする人、まわりにいる人たち

かけ声をかけて、おにの動きにいきおいをつけます。



ししをする人 大きさによってちがう

大きいししは3から4人、小さいししは一人でもやります。ししは神様のつかいだから、ししに頭をかまれると頭がよくなる、けんこうになるといわれます。ししがいない地いきもあります。

7 おにはしゅるいがあるの？ オス・メスの見分け方

お面の口を見てください。

口があいている方がメスで、口がとじている方がオスです。開いているものが「あ」、とじているものが「うん」を表します。



オスのかみの毛は黒っぽく、メスのかみの毛は白っぽいんです。地いきによって、色は少しずつちがいます。

8 地いきで何がちがうの？ 吉井のおにだいに

ぼくたちは、吉井の五つの地いきの方からお話を聞きました。



	秋津	湯端	旭	上横山	立野
おにの数	15人	大人3人 子ども3人	2人	8人で使い 回す。	2人
おにだいを するわけ	ぎしき 神様にねが うため のお祭り	ぎしき 神様にねが うため のお祭り	地いきを、 守ってくだ さい。	お米が、 育ちますよ うに。	今までのと 同じ
しし	ある	ない	昔は、あつ た	昔は、あつ た	ない
子どもの、 おにだいに	ある	ある	ない	ある	ない
いつ 始まった か。	100年 くらい前か ら	100年 くらい前か ら	昭和 10年代か ら	昭和 14年より 前から	明治34年 の面がある ので、それ より前から

地いきごとに、やる人の人数や、まい方がちがいます。他にも、たいこのリズムや、たいこのもようもちがいます。おにのいしょうのもようも、ちがいます。だから、よくおにを見ると、同じように見えてちがう所がよく分かります。

地いきの人たちが、もっとよくしようと思ってかえていったので、ちがっているのだと思います。

9 おにだいの「これから」は？ 地いきのねがい

1 練習がんばろう

おにだいの練習では、自分にきびしくがんばります。
おにだいをずっとすきでいることが大切です。



2 はじめたきっかけ

- 地いきを元気にしたい。
 - ほぞん会の人にさそわれた。
 - わかい人たちでやろうときめた。などです。
- 子どもや女の人がやっている地いきもあります。



3 昔のままなの？

もっとよいものにしようとかえている地いきもあります。
大切なのは、地いきにつたわってきたものをうけつぐことです。

4 うれしいことは？

- 地いきの人に会えること。
- みんながよろこんでくれること。



5 大へんなことは？

- 雨の日にやるときや、けがをしてしまうこと。
- おにだいをつたえていくこと。
- あとをつぐ人が少なくなっていること。



6 地いきの人のねがい

- 地いきのおにだいを大切にして、つたえてほしい。
- 佐渡以外の人もおにだいをよく知ってほしい。